

ライブ配信プログラム 9月12日⑩

9:00-10:30

シンポジウム b01

第1会場

「精神科における訪問診療の意義について改めて考えてみよう」

座長：堤 俊仁(つつみクリニック)

b01-01 診察室からみた8050問題

清水 聖保 医療法人聖心会 清水クリニック

b01-02 精神科における訪問診療について考えてみよう

金 陽平 医療法人適水会 つつみクリニック

コメンテーター

三家 英明 三家クリニック

シンポジウム b02

第2会場

「若手精神科医から見た精神科診療所」

座長：三原 伊保子(三原デイケア+クリニック りぼん・りぼん)

b02-01 司法精神科医からみた地域医療への期待

安藤久美子 聖マリアンナ医科大学 神経精神科学教室

b02-02 当院の精神科医療と現在までの変遷

森本 志保 医療法人明萌会 大塚クリニック

b02-03 在宅医療とオンライン診療の精神科領域における活用について

内田 直樹 医療法人すずらん会 たろうクリニック

指定発言 三原 茜 九州大学大学院医学研究院 精神病態医学

シンポジウム b03

第3会場

「新型コロナ時代における職場復帰支援について」

座長：三野 善央(みのクリニック)

b03-01 最近の労働衛生行政の動向

高倉 俊二 厚生労働省 労働基準局 安全衛生部 労働衛生課

b03-02 新型コロナ時代における職場復帰支援 ～主に都心部の主治医として産業医として～

高野 知樹 医療法人社団弘富会 神田東クリニック

b03-03 新型コロナ時代における職場復帰支援について産業医および外来精神科医の立場から
(中小都市)

田中 和秀 医療法人ひつじクリニック

b03-04 新型コロナ時代におけるリワークプログラムの役割

有馬 秀晃 品川駅前メンタルクリニック

ワークショップ b04

第4会場

「クロザピン(クロザリル) 投与における精神科診療所の役割と課題」

座長：森岡 壯充 (森岡神経内科)

b04-01 どこに住んでいても必要とする人にクロザピン処方を実現する：
難治性精神疾患地域移行推進事業を通じた岡山県の実情

来住 由樹 岡山県精神科医療センター

b04-02 大学病院の立場から

稲田 健 東京女子医科大学医学部 精神医学講座

b04-03 精神科病院の脱施設化におけるClozapineの役割

水野謙太郎 社会医療法人如月会 若草病院

10:40-12:10

シンポジウム b05

第1会場

「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムにおける精神科診療所の役割」

座長：上ノ山一寛 (南彦根クリニック)

李 利彦 (李クリニック)

b05-01 精神科医療のフルラインアップ化

杉山 直也 公益財団法人復康会 沼津中央病院

b05-02 「にも包括」時代の精神科診療所に求められる機能を考える

藤井 千代 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所

b05-03 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムにおける精神科診療所の役割

上ノ山一寛 南彦根クリニック

「精神科オンライン診療の実態調査と今後への提案」

座長：浅野 達藏 (浅野神経内科クリニック)

丸田 芳裕 (岩沢神経科クリニック)

b06-01 周産期うつ病に対するオンライン診療と訪問看護の連携

窪田 幸久 中央公園クリニック

b06-02 精神科オンライン診療の可能性 ～神経発達症診療における有用性～

磯部 昌憲 京都大学医学部附属病院 精神科 神経科

b06-03 非常時に患者さんを守るツールのひとつとしてのオンライン診療

津島 豊美 つしまメンタルクリニック

b06-04 地方都市精神科診療所におけるオンライン診療の問題点と課題 ～消極的立場から～

豊田 裕敬 医療法人社団 とよだクリニック

指定発言 岸本泰士郎 慶應義塾大学医学部 ヒルズ未来予防医療・ウェルネス共同研究講座

「精神科診療所における外国人診療の現状と今後の課題」

座長：阿部 裕 (四谷ゆいクリニック)

鈴木 満 (有楽町桜クリニック)

b07-01 精神医療機関における外国人患者受入れの現状と課題

岸本 年史 秋津鴻池病院 精神科

b07-02 多文化クリニックにおける現状と課題 -15年間を振り返って-

阿部 裕 四谷ゆいクリニック

b07-03 都内クリニックにおける多文化外来の症例報告と実践方法

李 創鎬 泉心会 泉保養院

b07-04 プライマリーケアクリニックにおける外国人診療の現状、主に精神科との境界領域の経験

高柳喜代子 高田馬場さくらクリニック 内科

座長：伊藤 高 (いとうクリニック)

b08-01 精神疾患を有する女性の妊娠・授乳についての説明と留意点

鈴木 利人 順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院

12:20-13:20

共催セミナー k01

第1会場

共催：大塚製薬株式会社

座長：齋藤 利和 (北海道公立大学法人 札幌医科大学 名誉教授 / 社会医療法人 博友会 副理事長)

- k01** 飲酒量低減薬ナルメフェンの適正使用を考える -断酒と減酒の使い分けを中心に-
宮田 久嗣 東京慈恵会医科大学 精神医学講座

共催セミナー k02

第2会場

共催：武田薬品工業株式会社 / ルンドバック・ジャパン株式会社

座長：山田 和夫 (横浜尾上町クリニック)

- k02** トリンテリックス 効果が弱いと思って処方やめてませんか？
～100例の処方例の検討から～
村上 健 医療法人社団二誠会 村上医院

共催セミナー k03

第3会場

共催：Meiji Seika ファルマ株式会社

- k03** 身体疾患患者の抑うつ状態の発現メカニズム、評価、マネジメント：
がんに焦点をあてて
明智 龍男 名古屋市立大学大学院医学研究科 精神・認知・行動医学分野

共催セミナー k04

第4会場

共催：ヤフセフファーマ株式会社

座長：渡邊 真里子 (ちはやACTクリニック)

- k04** 統合失調症のトータルケア ～多職種で取り組む治療と支援～
西浦 竹彦 医療法人遊心会 にじクリニック

13:30-14:30

特別講演 a01

第1会場

座長：上田 容子 (神楽坂ストレスクリニック)

- a01** 新型コロナ時代における地域精神科医療のあり方をめぐって
佐々木孝治 厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部精神・障害保健課

特別講演 a02

第2会場

座長：芦刈 伊世子 (あしかりクリニック)

a02 新型コロナウイルス感染症アップデート

忽那 賢志 大阪大学医学系研究科・医学部 感染制御学

特別講演 a03

第3会場

座長：三木 和平 (三木メンタルクリニック)

a03 新型コロナ時代と地域包括ケアシステム

江澤 和彦 公益社団法人 日本医師会

ワークショップ a04

第4会場

「学会設立への取り組みをめぐる」

座長：志津 雄一郎 (志津クリニック)

a04-01 日精診は診療報酬改定への要望ができる学会を早急に設立すべきである

里村 淳 特定医療法人 橘会・みずほ台病院 心療内科

a04-02 日精診 学会設立に関して

志津雄一郎 志津クリニック

コメンテーター

勝元 榮一 かつもとメンタルクリニック

越川 裕樹 石神井公園クリニック

14:40-16:10**シンポジウム b09**

第1会場

「精神科医療と自死遺族会との連携 -失なわれた命から学ぶ」

座長：三木 和平 (三木メンタルクリニック)

浜垣 誠司 (高木神経科医院)

b09-01 精神科診療所と自死遺族会との連携 -失われた命から学ぶ

里村 淳 特定医療法人 橘会・みずほ台病院 心療内科

b09-02 人はなぜ自殺するのか -自殺者の心理、遺族の心理

張 賢徳 一般社団法人 日本うつ病センター・六番町メンタルクリニック

b09-03 自死予防の最後のセーフティーネットとしての精神科医療について

田中 幸子 一般社団法人 全国自死遺族連絡会

b09-04 遺族支援における法的支援の位置づけと具体的支援内容

和泉 貴士 弁護士法人 まちだ・さがみ総合法律事務所

企画講演 b10

第2会場

「新型コロナウイルス禍と依存症関連問題」

司会：辻本 士郎 (ひがし布施クリニック)

**b10-01 Covid-19の感染状況が家族の関係に与える心理的な影響とその対策
—子ども虐待・家庭内暴力の予防を中心に—**

森田 展彰 筑波大学医学医療系 社会精神保健学

b10-02 新型コロナウイルス禍と依存症関連問題

野田 哲朗 兵庫教育大学 保健管理センター

シンポジウム b11

第3会場

「成人の発達障害診断を考える」

座長：大瀧 和男 (医療法人和音会 かずおメンタルクリニック)

大嶋 正浩 (メンタルクリニック・ダダ)

b11-01 成人への気軽な診断が起こすこと

原田 剛志 パークサイドこころの発達クリニック

b11-02 成人の発達障害診断について思うこと —児童精神科医の立場から

大瀧 和男 医療法人和音会 かずおメンタルクリニック

指定討論 村上 伸治 川崎医科大学 精神科学教室

シンポジウム b12

第4会場

「精神科領域におけるバイオマーカーの診断や治療への応用と可能性」

座長：寺田 浩 (あおいクリニック)

b12-01 種と類型 —統合失調症のカルボニルストレス—

糸川 昌成 公益財団法人 東京都医学総合研究所

b12-02 心拍変動解析による自律神経活動指標をうつ病のバイオマーカーとして利用する

榛葉 俊一 静岡済生会総合病院 精神科

b12-03 注意欠如・多動症の診断・治療における近赤外線スペクトロスコピー

岡崎 康輔 奈良県立医科大学 精神医学講座

「コロナ時代の精神科クリニックの在り方をめぐって」

座長：三木 和平 (三木メンタルクリニック)
 神山 昭男 (有楽町さくらクリニック)

基調講演 コロナ時代の精神科クリニックの在り方をめぐって

三木 和平 医療法人社団ラルゴ 三木メンタルクリニック 理事長／
 公益社団法人 日本精神神経科診療所協会 会長

c01-01 パンデミック下での精神科診療

～新型コロナウイルスへの精神科診療所での感染対策と患者教育の試み
 大山美香子 志木北口クリニック

c01-02 コロナ時代の精神科クリニックの在り方をめぐって

～変わらぬことの意義、器として果たす役割について～
 阿瀬川孝治 汐入メンタルクリニック

指定発言 羽藤 邦利 代々木の森診療所
 足立 直人 足立医院

司会：勝元 榮一 (かつもとメンタルクリニック)

c02-01 日常診療に治療ガイドラインは役に立つのか？

ー外来うつ病症例ディスカッションを通じてガイドラインの使い方を学ぼう
 勝元 榮一 かつもとメンタルクリニック

ファシリテーター

安田 由華 生きる育む輝くメンタルクリニック 梅田本院
 橋本 亮太 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 精神疾患病態研究部
 古郡 規雄 獨協医科大学 精神神経医学講座
 山田 恒 兵庫医科大学 精神科神経科学講座
 稲垣 貴彦 医療法人明和会 琵琶湖病院
 福本健太郎 岩手医科大学 神経精神科学講座
 徳満 敬大 獨協医科大学 精神神経医学講座

「認知症からみた老いについて」

座長：李 利彦 (李クリニック)

-
- c03-01** 老いの当事者となって
三原伊保子 三原デイケア+クリニック りぼん・りぼん
- c03-02** 認知症が老いるということはどういう意味をもつのか
芦刈伊世子 あしかりクリニック
- c03-03** 治療者の老いとともに変わってきた認知症診療
古沢 信之 こころのクリニック山形 院長
- c03-04** 認知症からみた老いについて
高橋 幸男 エスポアール出雲クリニック

「わが国における大規模調査からわかる双極性障害治療におけるヒント」

座長：後藤英一郎 (心和堂後藤クリニック)

枝川 浩二 (枝川クリニック)

-
- c04-01** 本邦の双極性障害外来患者の治療費用について；MUSUBI2016調査より。
本郷 誠司 市ヶ谷ひもろぎクリニック
- c04-02** 双極性障害外来治療患者の就労状況について -MUSUBI-J研究より-
近野 祐介 産業医科大学 精神医学教室
- c04-03** 双極性障害患者の寛解維持と急速交代型への薬剤の影響について
MUSUBI研究2年間のデータより
高野 謹嗣 関西医科大学 精神神経医学講座
- c04-04** 双極性障害外来患者における3年後治療反応の予測因子
菅原 典夫 獨協医科大学 精神神経医学講座

18:30-19:30

イブニングセミナー e01

第1会場

共催：持田製薬株式会社／吉富薬品株式会社

座長：三木 和平 (医療法人社団ラルゴ三木メンタルクリニック 理事長)

- e01 うつ病に対する抗うつ薬の臨床試験から学んだこと
上島 国利 昭和大学 名誉教授

イブニングセミナー e02

第2会場

共催：大日本住友製薬株式会社

座長：窪田 彰 (錦糸町クボタクリニック 院長)

- e02 統合失調症薬物療法におけるルラシドンへの期待
勝元 榮一 かつもとメンタルクリニック

イブニングセミナー e03

第3会場

共催：塩野義製薬株式会社／武田薬品工業株式会社

座長：大高 一則 (大高クリニック 院長)

- e03 ADHDに併存する精神疾患の診断と治療
ー普通の精神科クリニックがADHDを診療する意義ー
上田 均 もりおか心のクリニック

イブニングセミナー e04

第4会場

共催：MSD株式会社

座長：高野 知樹 (医療法人社団弘富会 神田東クリニック 院長)

- e04 大人の発達障害の診断と治療 ～併存する精神疾患、睡眠障害の対処法～
太田 晴久 昭和大学発達障害医療研究所 准教授